

## 米穀に係る認定指標作成等団体の認定に係る意見募集の結果について

令和8年4月1日

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部企画グループ

この度、米穀に係る認定指標作成等団体の認定に際し3月10日から3月23日までの期間、意見募集を実施しました。その結果、募集期間において、11件の御意見が寄せられました。いただいた御意見を下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

御意見について精査した結果、食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律（平成3年法律第59号）第42条の規定及び食品等の持続的な供給を実現するための食品等の取引の適正化に関する基本的な方針（令和8年農林水産省告示第83号）に照らして公益社団法人米穀安定供給確保支援機構に補正を求めることが必要と認められるものではありませんでした。

いただいた御意見については、必要に応じて認定指標作成等団体において検討を求めるとともに、農林水産省としても、必要な情報提供等に努めてまいります。

### 記

#### 1. コスト指標の作成方法等に関する御意見等

- ・米のコスト指標について、全国共通の基本的な指標としては、おおむね妥当な内容であると認識。「1.0ha以上3.0ha未満」の階層を代表的な作付規模とし、最新の公的統計をもとに算定されており、取引条件の協議における参考資料として適切だと考える。（同様の御意見 3件）
- ・集荷段階では、保管や輸送等に係るコストも年々上昇していることから今回のコスト指標に反映されており妥当な内容と思われる。
- ・中山間地域では、圃場の小区画・分散や地形的制約により作業効率が低下する傾向にあるため、平坦地との違いを踏まえた指標設定が望まれる。（同様の御意見 2件）
- ・コスト指標は一律で示すのではなく地域ごとの栽培条件等も考慮した上で区分別に設定し示していただきたい。（同様の御意見 2件）
- ・現場では中小規模・家族経営が地域農業を支えている実態があることから、こうした多様な経営体を前提とした指標の提示が望まれる。（同様の御意見 1件）
- ・圃場の分散や小ロット出荷により、集荷・搬出に係る負担が大きくなっている。また、燃料価格の変動も影響していることから、地域特性を踏まえた輸送コストの評価が必要と考える。

- ・主食うるち米やもち米、酒米のように生産費が実態として違いがあることから、品目別のコスト指標の提示を検討して欲しい。
- ・小規模経営体が多く、高齢化も進行していることに伴い、作業効率の低下や外部労働への依存が生じており、こうした構造的要因の反映を求める。
- ・高齢化の進行に伴う作業負担の増加や外部委託の必要性を踏まえ、持続的な営農を見据えた適切な水準での評価を求める。
- ・担い手確保や地域維持の観点も含め、将来にわたり営農が継続できる視点での指標設計が重要と考える。
- ・指標の作成に当たっては、町の米屋のコスト構造が適切に反映されるよう検討されることを要望する。
- ・各段階の代表者の意見を踏まえて検討することが重要とされていることから、販売段階の代表として米穀小売業の意見が適切に反映される仕組みを確保していただくよう要望する。
- ・コスト指標を算出する際の想定収量について、反収が大幅に減少している実情を踏まえ設定し示していただきたい。

## 2. コスト指標の公表等に関する御意見等

- ・指標は利潤を含まない生産コストを示すものであることから、コスト水準のみが独り歩きし、流通や取引の場面において一律の価格基準として受け止められることがないように、指標の位置づけや活用方法について十分配慮し、適切な運用を図ることが重要である。  
(同様の御意見 1件)
- ・指標の作成及び公表に当たっては、消費者や関係事業者に対する分かりやすい情報発信や広報活動を通じて、制度の趣旨や米の価格形成に対する理解を深めることも重要であると考えます。  
(同様の御意見 2件)
- ・コスト指標のバックデータとして参照されたのは、令和6年のデータだが、直近の国際情勢等の影響で、8年産の生産に係るコストは更に上昇することが考えられる。直近のコスト上昇分を反映する、または直近のコスト上昇は反映されていない事のアナウンス強化が必要ではないか。
- ・収量は平坦地と中山間地では異なり、そこにかかる労働費にも差がある。この内容は織り込み済みか、考え方を明記すべきではないか。  
(同様の御意見 1件)

- ・販売先とは 10 a あたりの生産コストの協議が主であるため、60 kgあたりの生産コストのみではなく、10 a あたりの生産コストでされた方がよかった。また、コスト指標として 10 a あたりの収量想定も合わせて示された方が商談や交渉で活用できるデータとなり得る。

### 3. その他の御意見等

- ・コスト指標に加え、生産者の利益を確保できる設定を共通の目的にしてほしい。
- ・経営規模・地理的要素・作型など、補正係数を入力すれば簡単に目的とする「コスト指標」が参照できるような、web システムの構築・解放・早期実用化を望む。
- ・中山間地域の実情を十分に踏まえ平場との条件差による不利が生じないよう、必要な支援や地域の実態に応じた対応をあわせて講じることを要望する。